

平成22年1月25日

総合政策局 国際建設推進室

## アジアハイウェイ 50周年記念セミナーのご案内について（お知らせ）

この度、国土交通省では、国連アジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）との共催により、標記セミナーを2月18、19日に開催します。

1959年に始まったアジアハイウェイ・プロジェクトは、開始から50年が経過した現在、参加32ヶ国、総延長14万kmにおよび、アジア地域の社会・経済活動を支える重要な社会資本となっています。

そこで、この記念すべき年に、本プロジェクトの半世紀を振り返りつつ、今後を展望するセミナーを下記のとおり開催します。

## 記

1. 日 程：平成22年2月18日(木)、19日(金)
2. 主 催：国土交通省、国連アジア太平洋経済社会委員会
3. 概 要：
  - ① セミナーセッション [2月19日(金)] 10:15～17:15(受付開始9:30)
    - ・会場：弘済会館（東京都千代田区麴町5-1）
    - ・プログラム：別紙参照
  - ② 現地視察セッション [2月18日(木)] 13:00～17:30
    - ・視察箇所：首都高速道路 交通管制センター、東京湾アクアライン
4. 参加費：無料
5. 申し込み方法

2月8日(月)までに、申込登録フォームをご提出願います。

※参加希望多数の場合、ご希望に添えない場合もあります。予めご了承願います。

問い合わせ先： 国土交通省総合政策局国際建設推進室 榊・小田川  
代表 03-5253-8111 夜間直通 03-5253-8315

# アジアハイウェイ 50 周年記念セミナー

## ～ プ ロ グ ラ ム ～

□主 催	: 国土交通省、国連アジア太平洋経済社会委員会 (UNESCAP)
□開催日	: 2010年2月18日(木)、19日(金)
□会 場	: 弘済会館(東京都)

### 1. セミナーセッション [2月19日(金)] ※日英同時通訳による開催

9:30~10:15 受付

10:15~10:25 **開会**

10:25~11:05 **基調講演**

「シームレスアジアを目指して(仮題)」

東京大学新領域研究科教授

吉田 恒昭

11:05~11:30 **UNESCAP からの報告**

「アジアハイウェイ発展の経緯と現状」

UNESCAP 交通部

Madan Bandhu Regmi

11:30~12:00 **アジアハイウェイ・ユーザーからの報告**

・日本ロジテム株式会社 代表取締役社長

・ジャーナリスト

中西 弘毅

大林 高士

12:00~13:20 昼食

13:20~13:50 **日本からの貢献**

・国土交通省国土地理院 参事官(元 UNESCAP 派遣) 吉兼 秀典

・JICA 経済基盤開発部

運輸交通・情報通信第一課長

小泉 幸弘

13:50~15:00 **カントリーレポート**

・カンボジア王国 公共事業運輸省道路インフラ部長 ヌ ワタナ

・インド 道路交通省 技術課長

A. N. Dhodapkar

・大韓民国 国土研究院 道路政策研究部長

ホ チョンイル(調整中)

・ロシア連邦 運輸省

(調整中)

15:00~15:30 休憩

15:30~17:00 **パネルディスカッション** テーマ「アジアハイウェイの将来展望」

・東京大学 新領域研究科教授 [司会]

吉田 恒昭

・UNESCAP 交通部 部長

Barry Cable

・国土交通省 国土地理院 参事官(元 UNESCAP 派遣) 吉兼 秀典

・日本ロジテム株式会社 代表取締役社長

中西 弘毅

・カンボジア王国 公共事業運輸省道路インフラ部長 ヌ ワタナ

・インド 道路交通省 技術課長

A. N. Dhodapkar

・大韓民国 交通研究院 センター長

クォン ユンイン

17:00~17:15 **閉会**



## 2. 現地視察セッション [2月18日(木)]

□日	時：2010年2月18日(木)	13:00～17:30頃
□視察箇所：	①首都高速道路(株)	交通管制センター
	②東日本高速道路(株)	東京湾アクアライン
□出発/到着地：	グランドプリンスホテル赤坂 メインエントランス(新館入口前) (地下鉄赤坂見附駅又は永田町駅 徒歩1～2分)	
□行程：	参加者集合	13:00
	<b>出発地</b>	13:10
	↓ バス移動	
	<b>交通管制センター</b>	13:30～14:30
	↓ バス移動	
	<b>東京湾アクアライン</b>	15:30～16:30
	↓ バス移動	
	<b>到着地</b>	17:30

### □視察箇所概要

#### 首都高速道路(株) 交通管制センター

首都高速道路は、営業路線延長295km、1日に110万台以上の車両が利用する東京圏の大動脈です。道路利用者が安全、円滑、快適に首都高速道路を利用できるように24時間体制で交通管制を行っています。

当日は、管内の東側を所管する交通管制室にて、交通管制システムの視察を行います。



#### 東日本高速道路(株) 東京湾アクアライン

東京湾アクアラインは、東京湾の中央部を約10kmのシールドトンネルと約5kmの橋梁で横断しており、トンネルの中央部に1箇所、トンネルと橋梁の接続部に1箇所の2箇所の人工島を有する有料道路です。

当日は、資料館及びトンネル内に整備されている管理用通路等の視察を行います。



# アジア・ハイウェイ50周年記念セミナー

## ～申込登録フォーム～

伊藤 不二夫 宛	F A X : 0 3 - 3 2 3 0 - 4 0 3 0
社団法人 国際建設技術協会	T E L : 0 3 - 3 2 6 3 - 7 8 1 3
〒102-4030 東京都千代田区麴町 5-3-23	E - m a i l : a h 5 0 t h @ i d i . o r . j p

ご参加希望の場合、2月8日（月）までに、本用紙にてお申し込み下さい。

なお、参加希望多数の場合、ご希望に添えないこともありますので、予めご容赦願います。  
参加の可否については、2月12日（金）迄に、事務局からご連絡させていただきます。

以下の口欄に、チェックをお願い致します。

- 2月19日（金） セミナーセッション 参加希望  
 2月18日（木） 現地視察 参加希望

1. 氏 名:.....  
(姓) (名)

2. 会社名:.....

3. 所属・役職:.....

4. 電 話: ..... FAX : .....

5. E-Mail アドレス: .....

### <個人情報の取扱いについて>

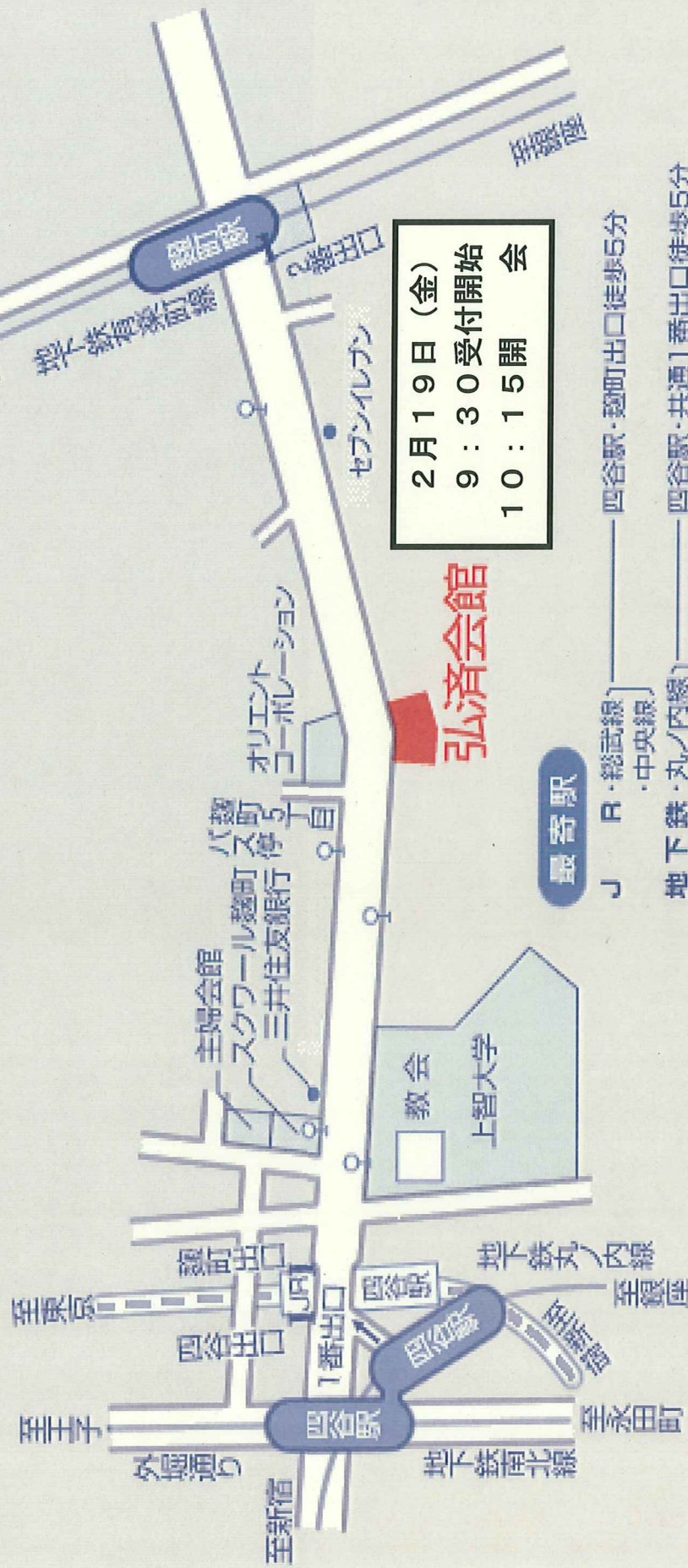
- 個人情報の利用目的  
ご提供いただいた個人情報は、アジアハイウェイセミナー開催のために利用致します。
- 個人情報の管理について  
ご提供頂いた個人情報は、厳正な管理下で安全に取り扱います。また、収集した個人情報は、アジアハイウェイセミナーの終了後、安全な方法をもって破棄することとし、記入者に返却はいたしません。
- その他  
その他、個人情報の取扱は、「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第58号）」の規定により行います。

※国土交通省では、本セミナー開催のため、事務作業を（社）国際建設技術協会へ委託しています。



# 弘済会館案内図

東京都千代田区麹町5-1  
 TEL 03-5276-0333 FAX 03-3261-0794  
 E-mail [kosai-kaikan\\_2@kousaikai.or.jp](mailto:kosai-kaikan_2@kousaikai.or.jp)



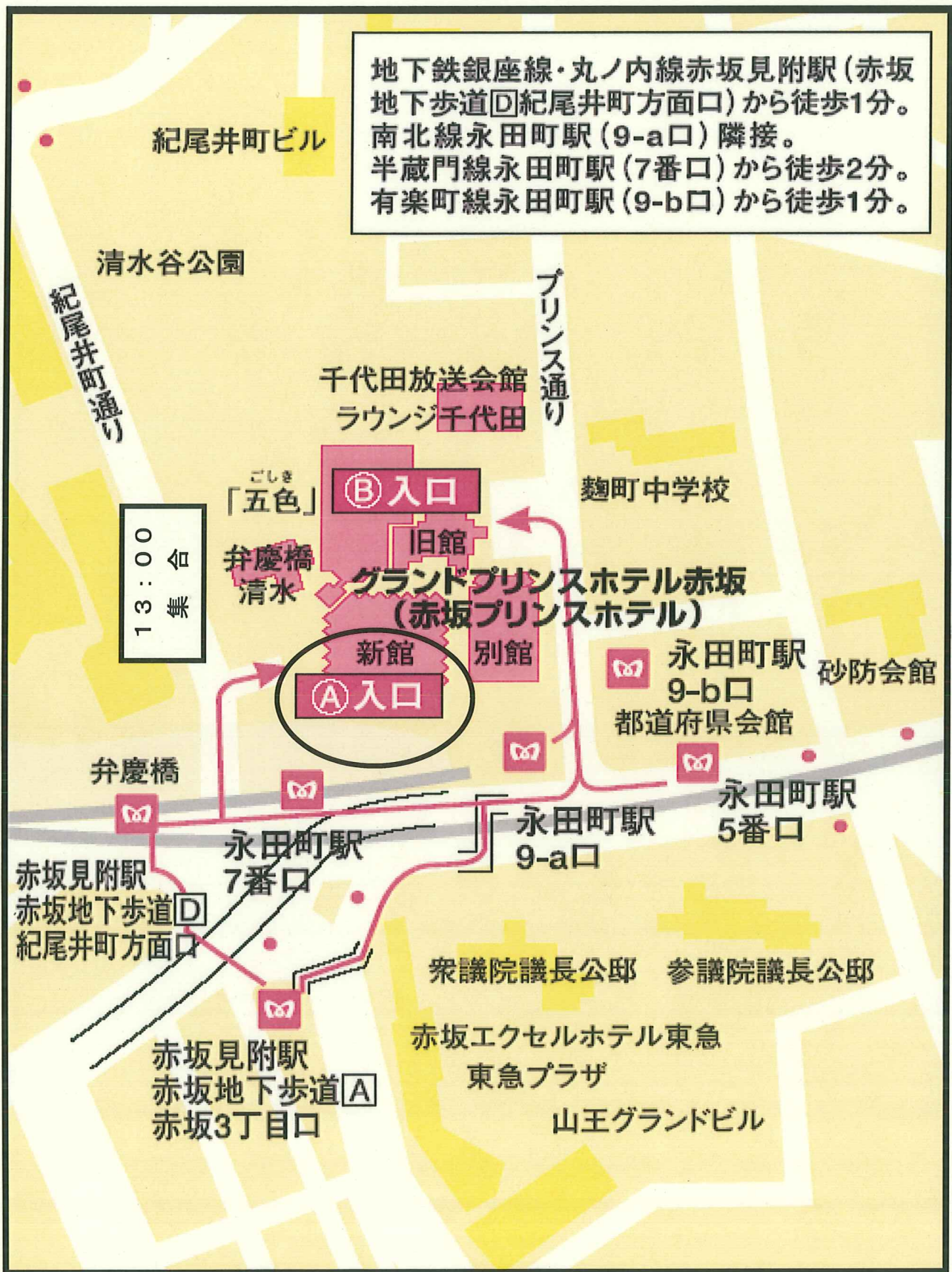
2月19日(金)  
 9:30受付開始  
 10:15開 会

## 弘済会館

### 最寄駅

- J R・総武線 四谷駅・麹町出口徒歩5分
- 中央線 四谷駅・共通1番出口徒歩5分
- 地下鉄・丸の内線 有楽町線・有楽町駅・2番出口徒歩5分
- 南北線 新宿西口~三宅坂
- バス・(宿75) 麻海埠頭~四谷 麹町5丁目下車1分







## アジアハイウェイ・プロジェクト

### 1. 目的

アジアハイウェイ・プロジェクトは、1959年国連アジア極東経済委員会（現、国連アジア太平洋経済社会委員会）メンバー国により提唱され、現在ではアジア32カ国を結ぶ広域道路網である。

本プロジェクトは、貿易、観光の需要に応え、ひいては域内の経済・社会発展を促進するための国際広域道路網としての整備を目的としている。

### 2. 経緯

1959年 国連アジア極東経済委員会 (ECAFE) 総会にて

アジアハイウェイ計画採択

[40路線、延長約6万5千km]

1995年 国連アジア太平洋経済社会委員会 (ESCAP) が路線網設定

[約6万9千km]

2002年 ESCAP 専門家会合にて、路線網を全面的に見直し

[約14万1千km]

2003年 ESCAP 政府間会合にて、「アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定」原案採択。

同会合にて、日本が参加表明

[32ヶ国、約14万2千km]

2004年 ESCAP 総会にて、「アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定」の署名式を開催（日本を含む26ヶ国が署名）

2005年 「アジアハイウェイ道路網に関する政府間協定」発効

